



影岡 俊範 議員



きらきらナビアプリのQRコード（愛媛県ホームページより）

少子化対策としての「子育て支援」の具体策は

総合戦略の二番の目標として切れ目のない支援を推進

問

- ① 地方創生総合戦略の「子育て支援」の具体策は。
- ② 子育て世代への有効な情報伝達の手段スマホ・アプリは。

町長

- ① 人口減少を克服するため、現在松前町の総合戦略の策定を進めている。目標の一番目の少子化対策は、結婚か
- Ⅰ 保育所の統合と老朽化した施設の計画的かつ効率的な整備の実施
- Ⅱ 小学校6年生まで受け入れ児童クラブの整備
- Ⅲ 子ども医療費助成中学校までの拡充
- Ⅳ 公園遊具の設置により子どもの遊び場を確保
- Ⅴ 大型商業施設などを利用した出会いの場の創出

福祉課長

- ② 12月24日より県の開発したアプリが運用開始。町の子育てサイト、マッキー子育て応援隊は5月に開設している。

「教育の町」を唱えるなら誰にも平等な機会が必要では

町長・教育委員会で教育大綱を策定 今後の方向性を示す

問

- ① 「教育の町」をうたうわが町では、子供たちの教育の機会が失われることは、絶対にあってはならない。
- ② 放課後総合プランの推進は。
- ③ 無料塾の開設は。

教育委員会事務局長

- ① こども教室と児童クラブの両者の連携一体化を進めるものであり、現状は放課後児童クラブの整備で対応したい。また、共通プログラムの充実を図る事で総合的な放課後対策に取り組む。
- ② 例に挙げた徳島県2町の実情と異なり、生徒数や塾に通う児童数が多い。また、指導者、実施場所などの課題で松前町にはそぐわない。